



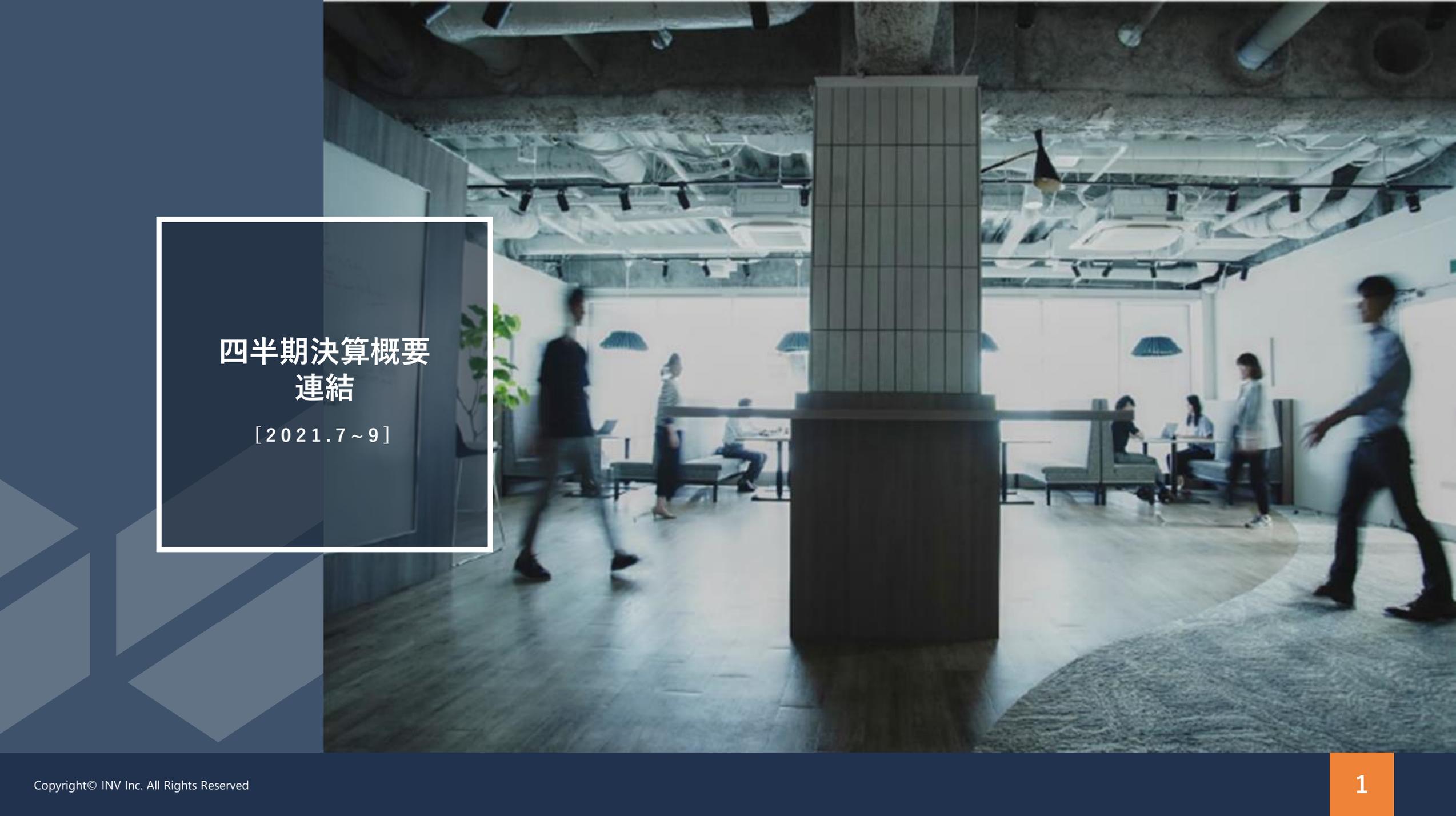
▶ MAKING THE WORLD
A BETTER PLACE

決算説明資料

Financial results briefing materials

2022年3月期 第2四半期

インヴァスト株式会社



四半期決算概要 連結

[2021.7~9]

2022年3月期 第2四半期ハイライト

▶ 国内金融事業

外国為替市場および米国株式市場の相場が堅調に推移したことや、サービスの集約によるコスト改善および広告施策の効率化を行い販管費・一般管理費の削減を継続して実施したことから、前年同期と比較すると**増益**となった。

▶ 海外金融事業

第1四半期から継続して法人向けブローカレッジ事業および個人向けDMACFDサービスが順調に拡大したことや人材の育成および技術力の強化に注力したことにより、前年同期と比較すると**増収増益**となった。

▶ 営業外収益の計上

子会社が出資する投資ファンドにて、第一四半期の営業外収益2億77百万円の計上に続き、第二四半期も投資ファンドにおいて売却利益が発生したことにより匿名組合投資利益として**営業外収益66百万円**を計上した。

これらの結果、営業収益は前年同期比+10.1%の11億77百万円、営業利益は前年同期比 1億93百万円増の1億84百万円、経常利益は前年同期比 2億99百万円増の2億45百万円となった。

当社は、2020年10月1日にインヴァスト証券株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、インヴァスト証券株式会社の2021年3月期第2四半期連結会計期間と比較しております。

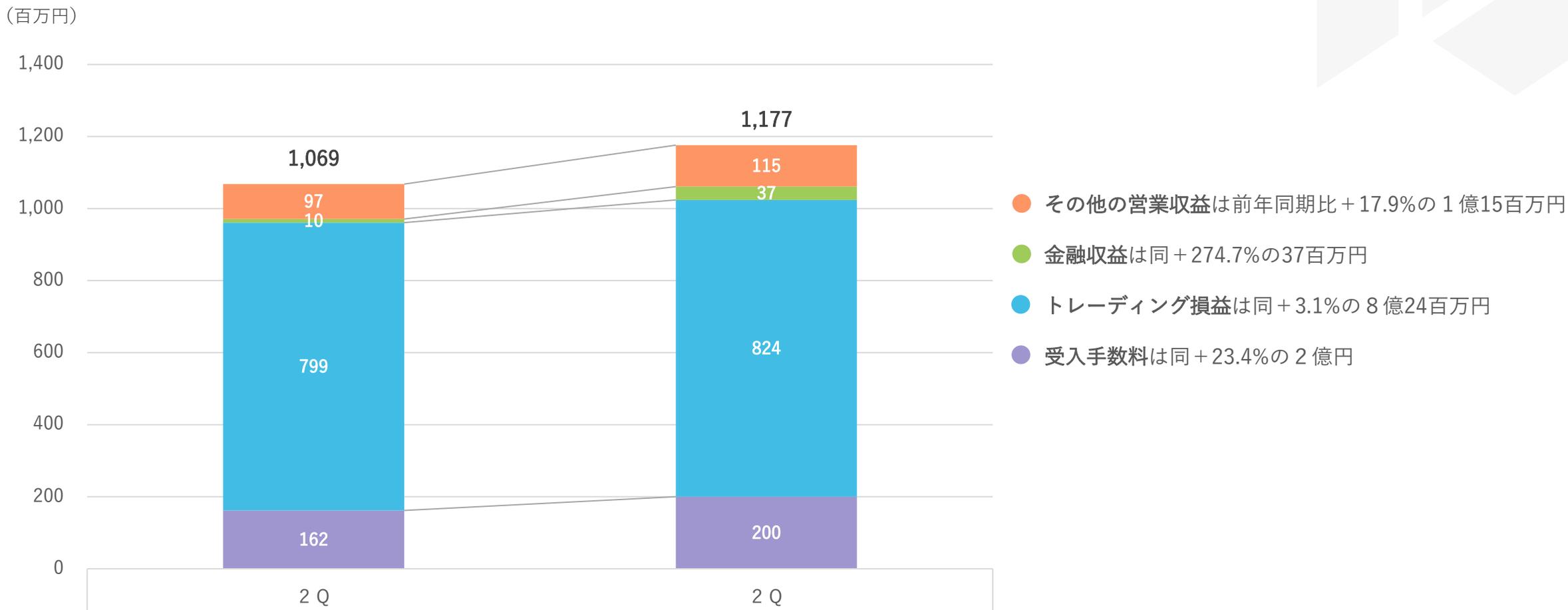
第2四半期決算 業績サマリー

単位：百万円	2021年3月期 2Q(2020.7-9)	2022年3月期 2Q(2021.7-9)	対前年同期比 増減率
営業収益	1,069	1,177	+10.1%
純営業収益	1,065	1,148	+7.8%
営業利益	-8	184	-
経常利益	-54	245	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-37	155	-

当社は、2020年10月1日にインヴァスト証券株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、インヴァスト証券株式会社の2021年3月期第2四半期連結会計期間と比較しております。

営業収益の内訳

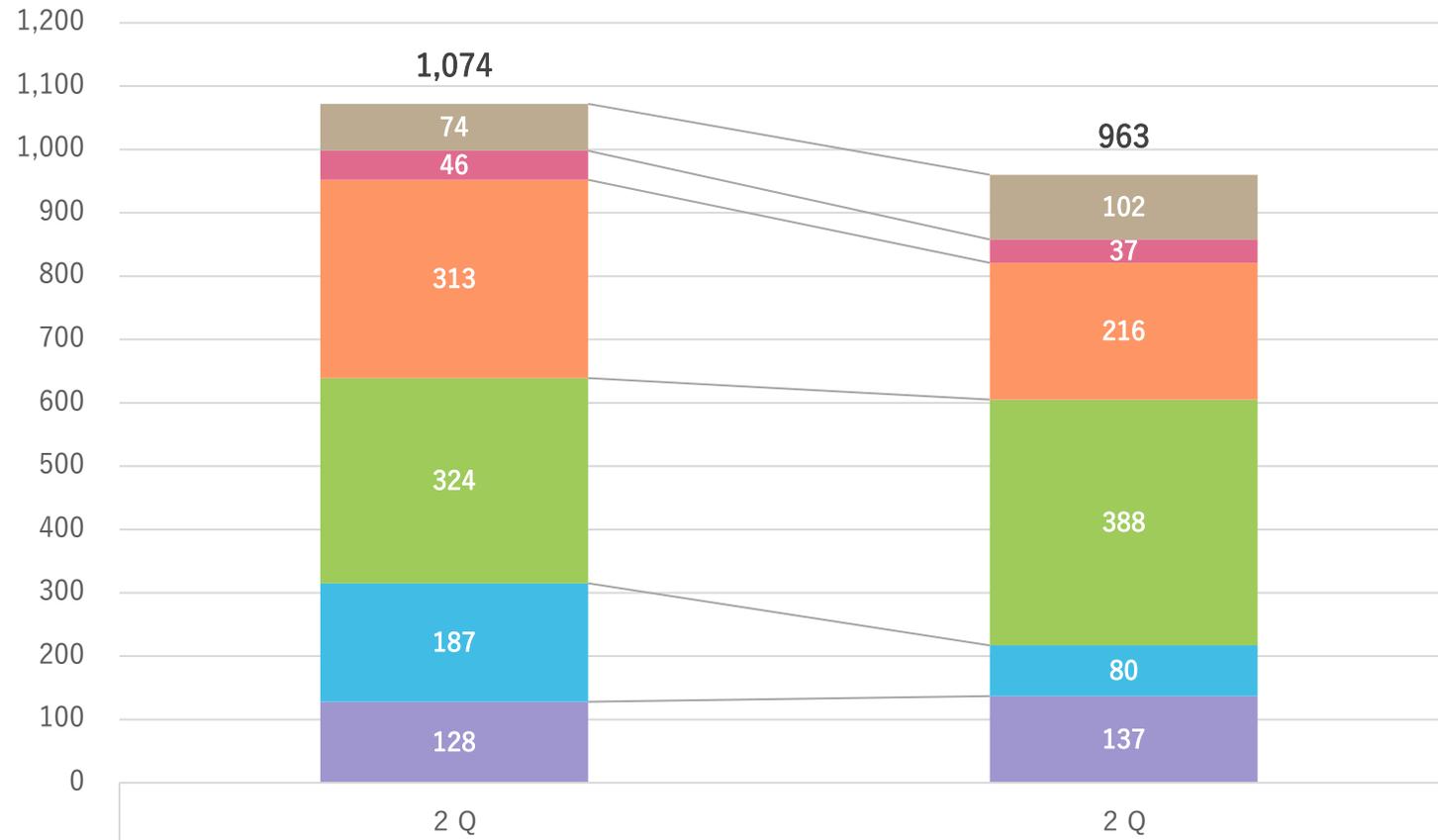
営業収益は、前年同期比 +10.1% の 11億77百万円



販売費・一般管理費の内訳

販売費・一般管理費は、前年同期比 $\triangle 10.3\%$ の **9億63百万円**

(百万円)

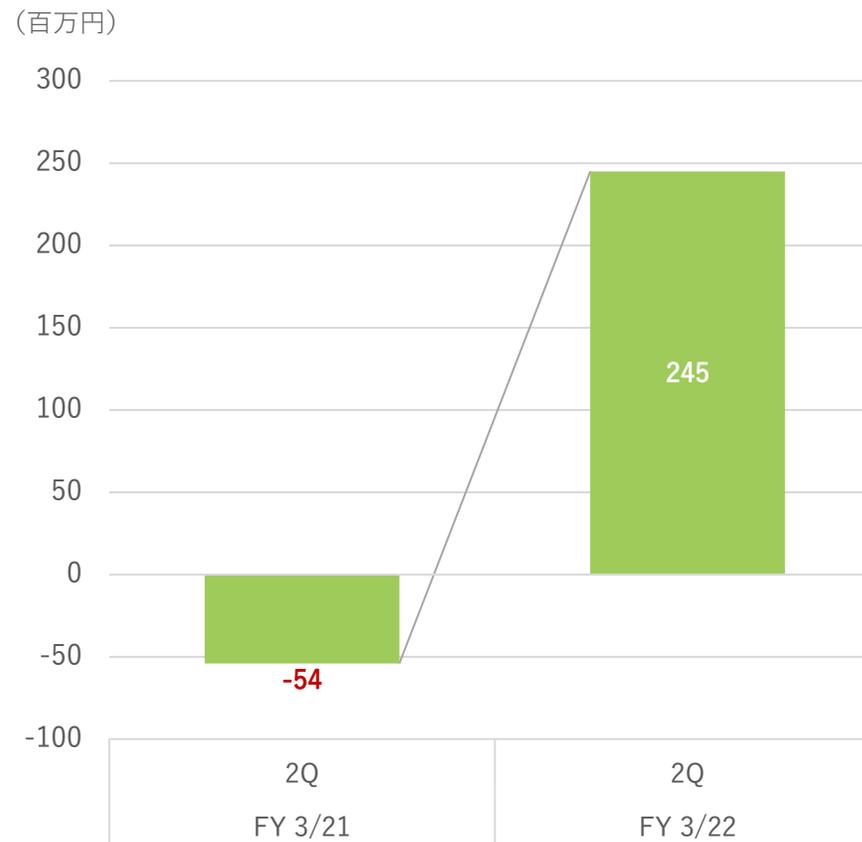
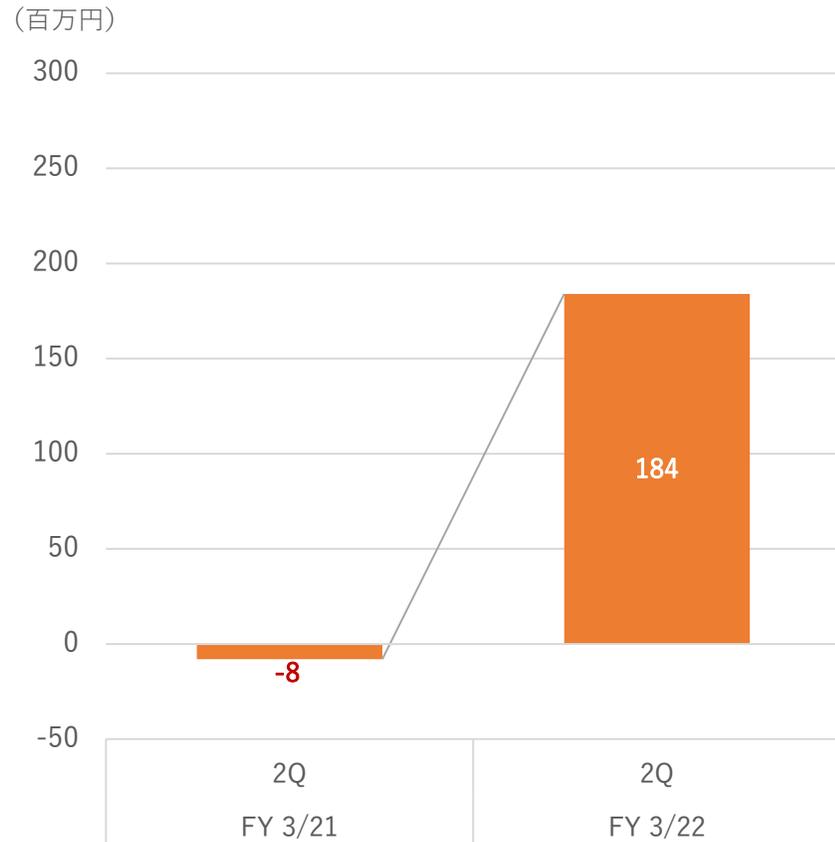


- その他の費用は前年同期比 + 38.5%の 1 億 2 百万円
- 減価償却費は同 $\triangle 19.1\%$ の 37 百万円
- 器具備品費は同 $\triangle 30.9\%$ の 2 億 16 百万円
- 人件費は同 + 19.8%の 3 億 88 百万円
- 広告宣伝費は同 $\triangle 57.1\%$ の 80 百万円
- 取引関係費は同 + 7.4%の 1 億 37 百万円

営業利益・経常利益

営業利益は前年同期比 1億93百万円増 の 1億84百万円

経常利益は前年同期比 2億99百万円増 の 2億45百万円



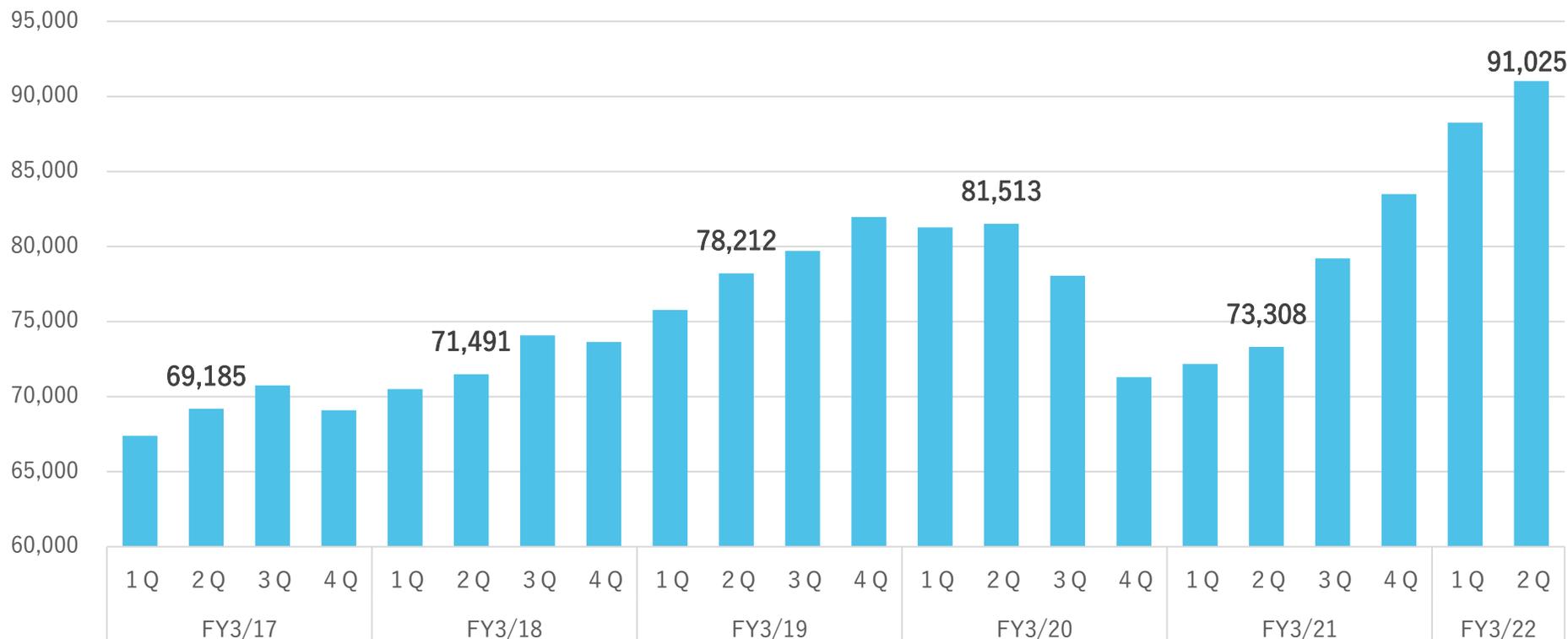
- 営業利益
- 経常利益

グループ全体 預かり証拠金残高の推移

預かり証拠金残高は前年同期比 **177億円増** の **910億25百万円**

900億円 を突破し、2022年3月度第1四半期に続き **過去最高** を更新

(百万円)



取引量は相場のボラティリティにより変動するため、「収益の源泉」であり「お客様からの信頼の証」となる**預かり証拠金残高**は重要な指標となります。

※連結子会社IFSの決算日は12月31日のため数値は3ヶ月前の値となります。



半期決算概要 連結

[2022.4~9]

半期決算 業績サマリー

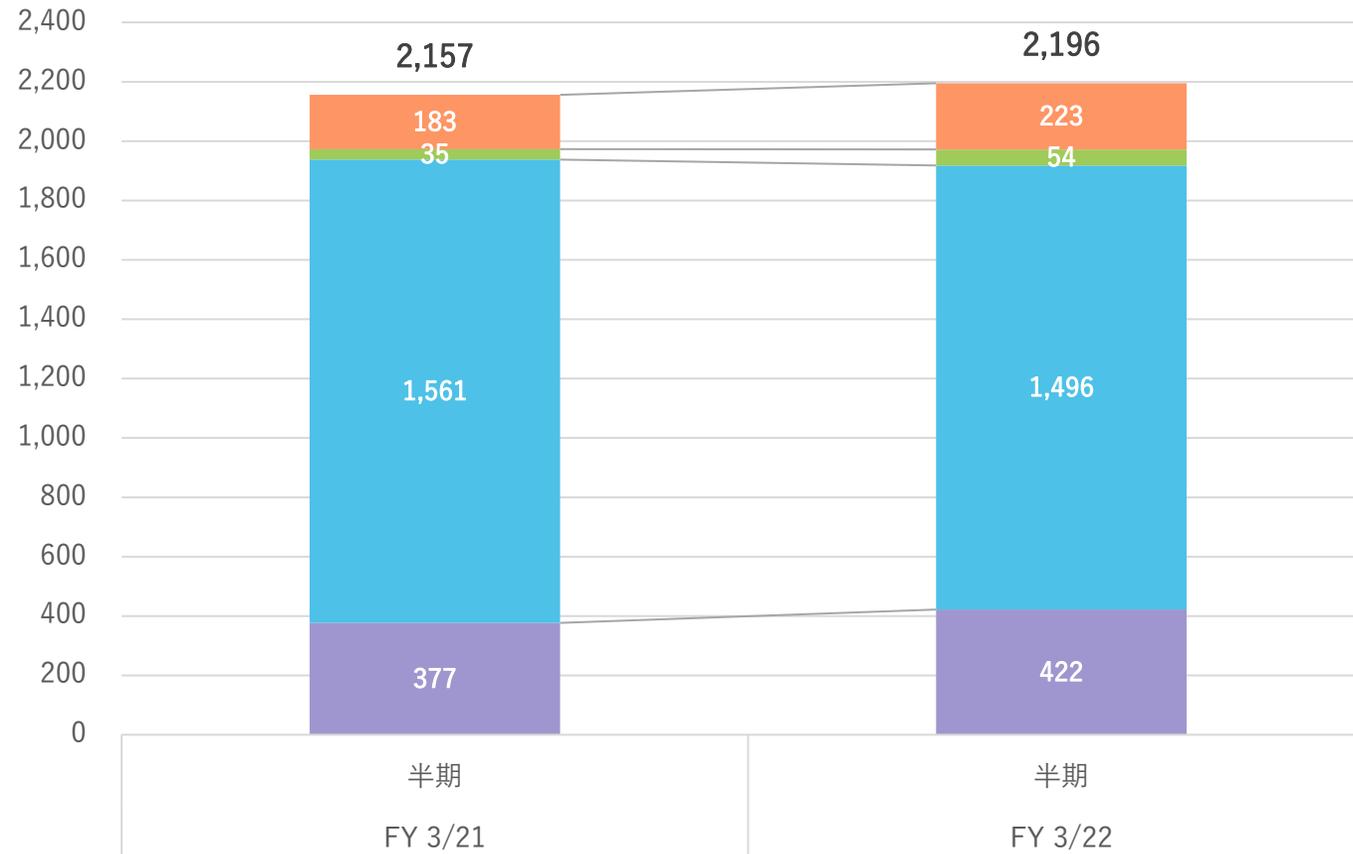
単位：百万円	2021年3月期 (2020.4-9)	2022年3月期 (2021.4-9)	対前年同期比 増減率
営業収益	2,157	2,196	+ 1.8%
純営業収益	2,141	2,156	+ 0.7%
営業利益	50	200	+ 296.6%
経常利益	7	538	+ 7,488.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-2	348	-

当社は、2020年10月1日にインヴァスト証券株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、インヴァスト証券株式会社の2021年3月期半期連結会計期間と比較しております。

営業収益の内訳

営業収益は、前年同期比 +1.8% の 21億96百万円

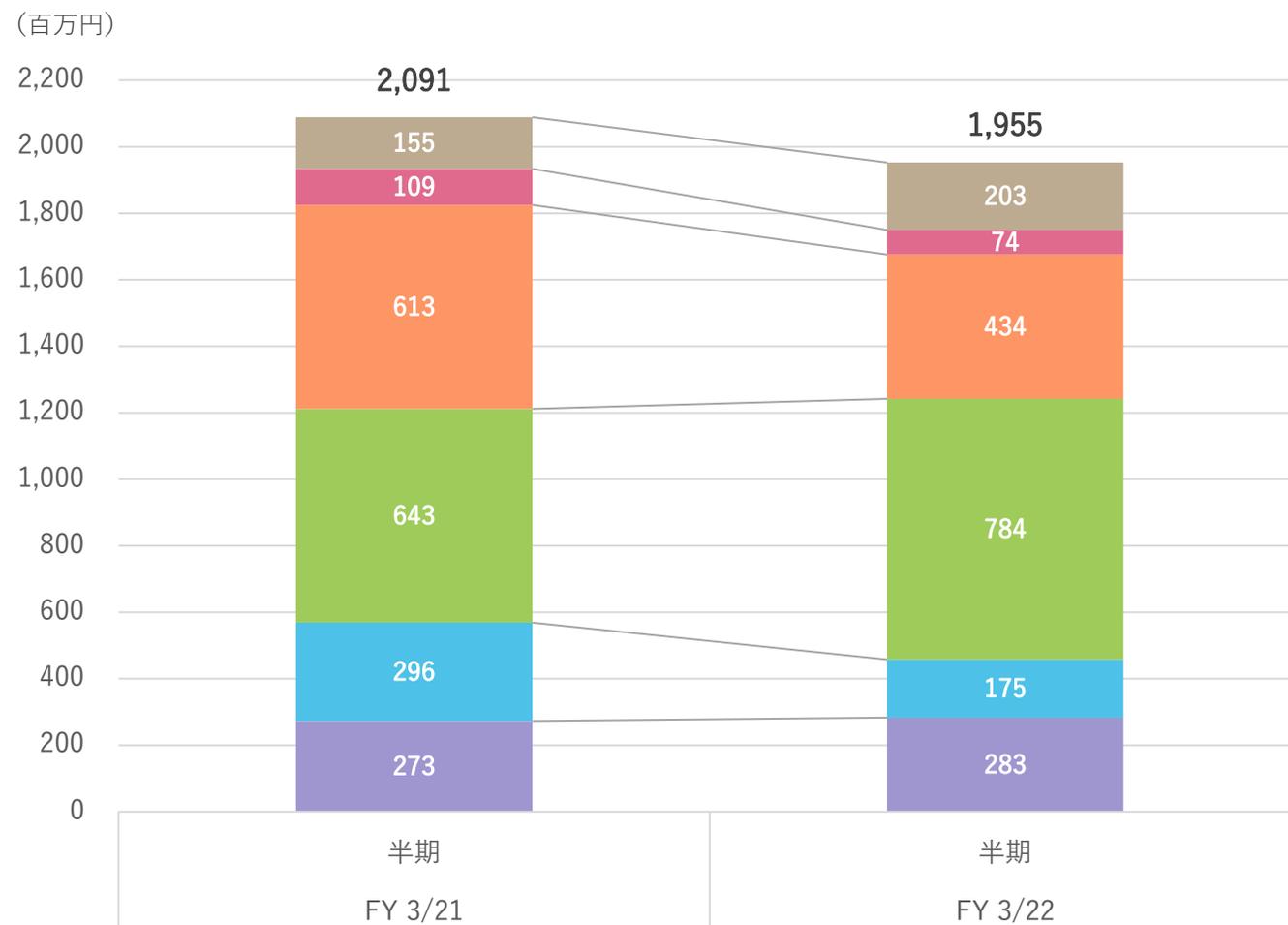
(百万円)



- その他の営業収益は前年同期比 +21.7%の2億23百万円
- 金融収益は同 +53.6%の54百万円
- トレーディング損益は同 -4.2%の14億96百万円
- 受入手数料は同 +12.0%の4億22百万円

販売費・一般管理費の内訳

販売費・一般管理費は、前年同期比 $\triangle 6.5\%$ の **19億55百万円**

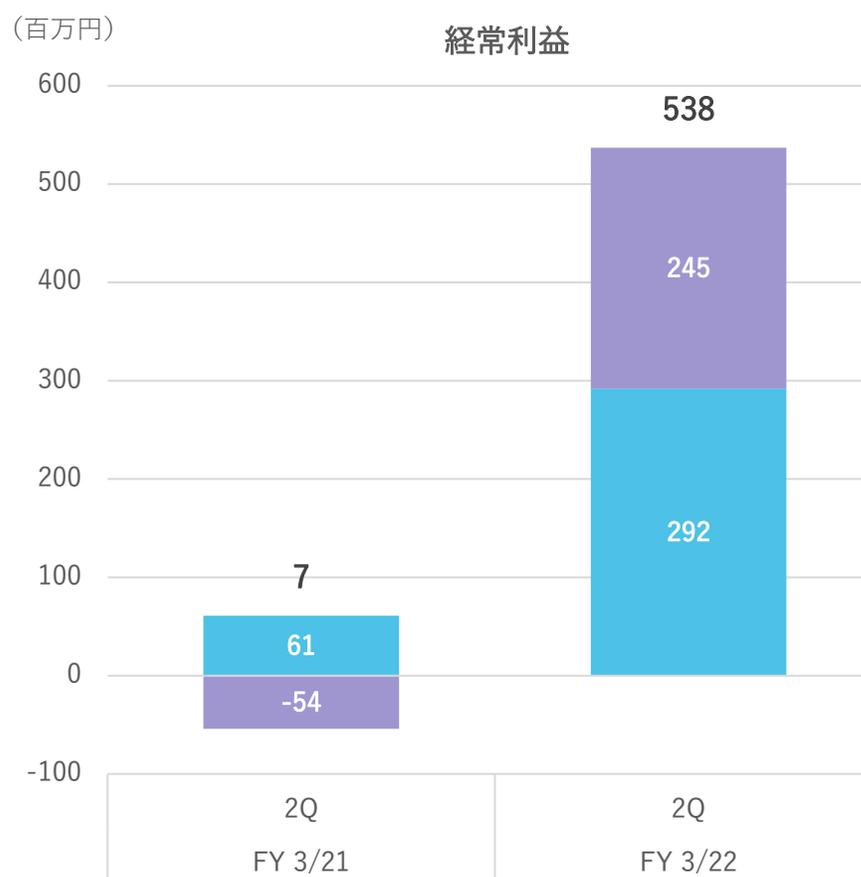
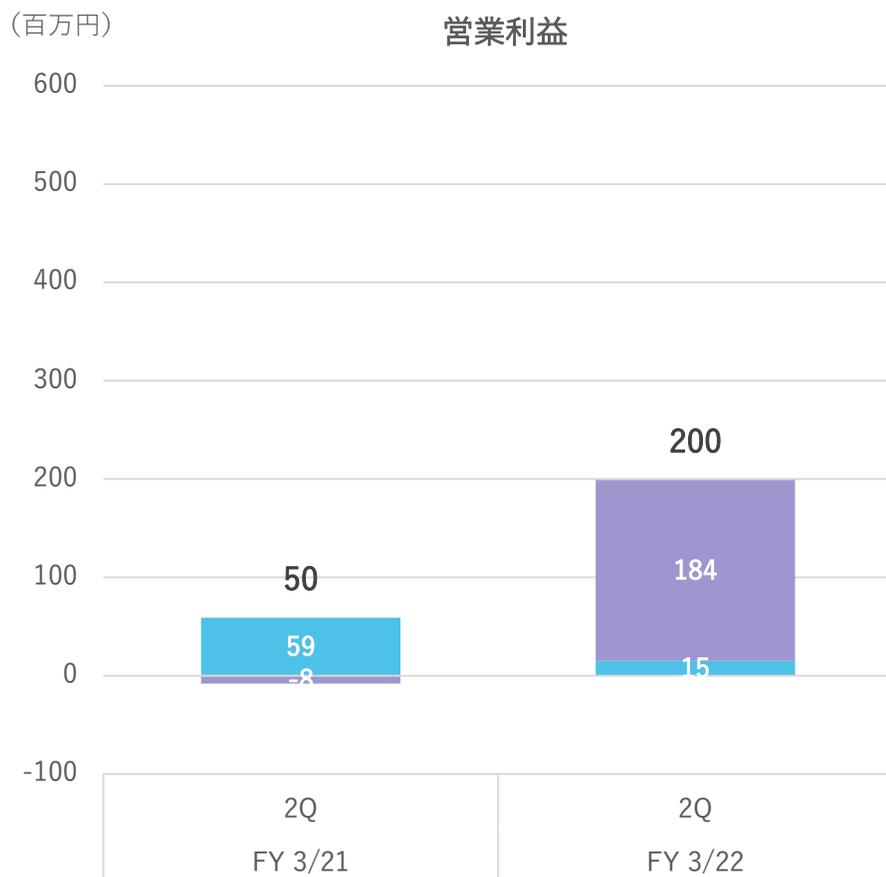


- その他の費用は前年同期比 + 31.2%の 2 億03百万円
- 減価償却費は同 $\triangle 32.5\%$ の 74百万円
- 器具備品費は同 $\triangle 29.1\%$ の 4 億35百万円
- 人件費は同 + 21.9%の 7 億84百万円
- 広告宣伝費は同 $\triangle 40.7\%$ の 1 億76百万円
- 取引関係費は同 + 3.6%の 2 億82百万円

営業利益・経常利益

営業利益は前年同期比 1億50百万円増 の 2億円

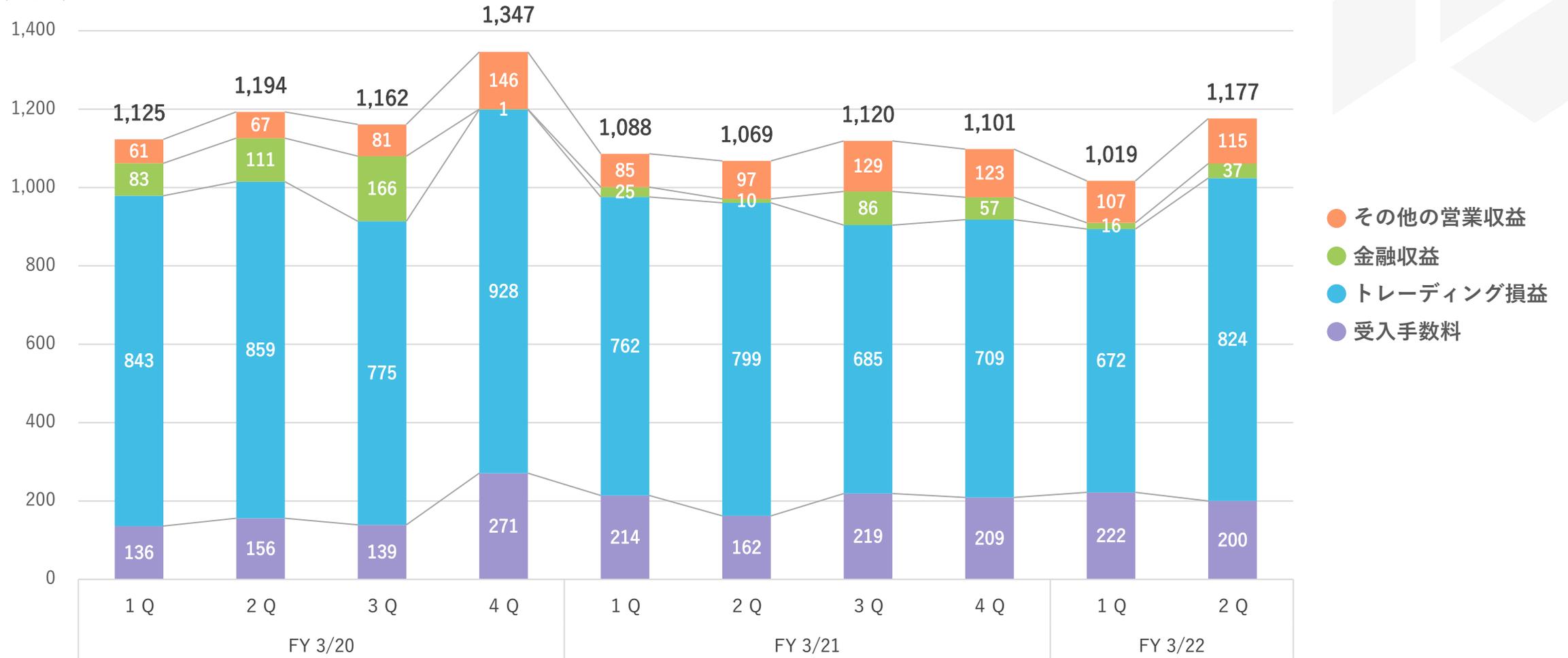
経常利益は前年同期比 5億31百万円増 の 5億38百万円



- 1Q 第1四半期
- 2Q 第2四半期

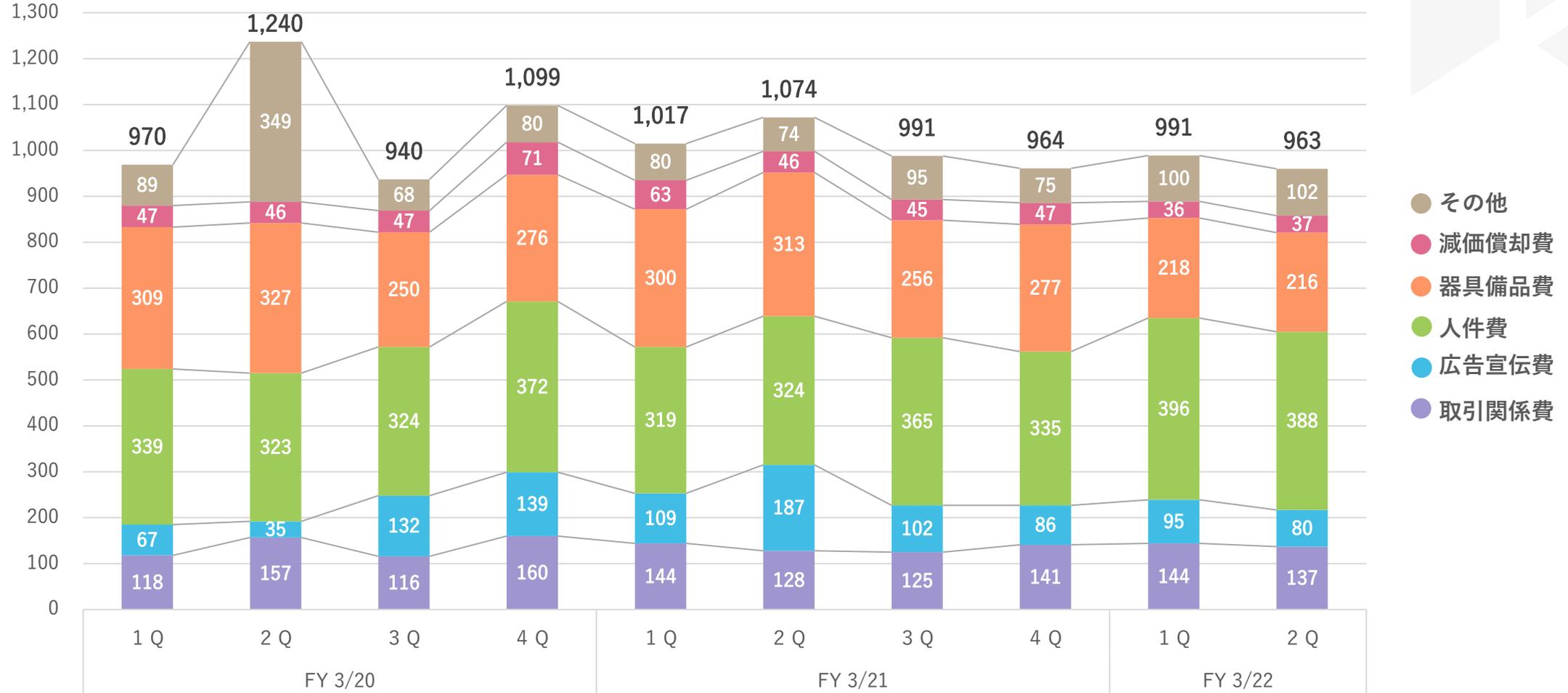
営業収益の推移

(百万円)

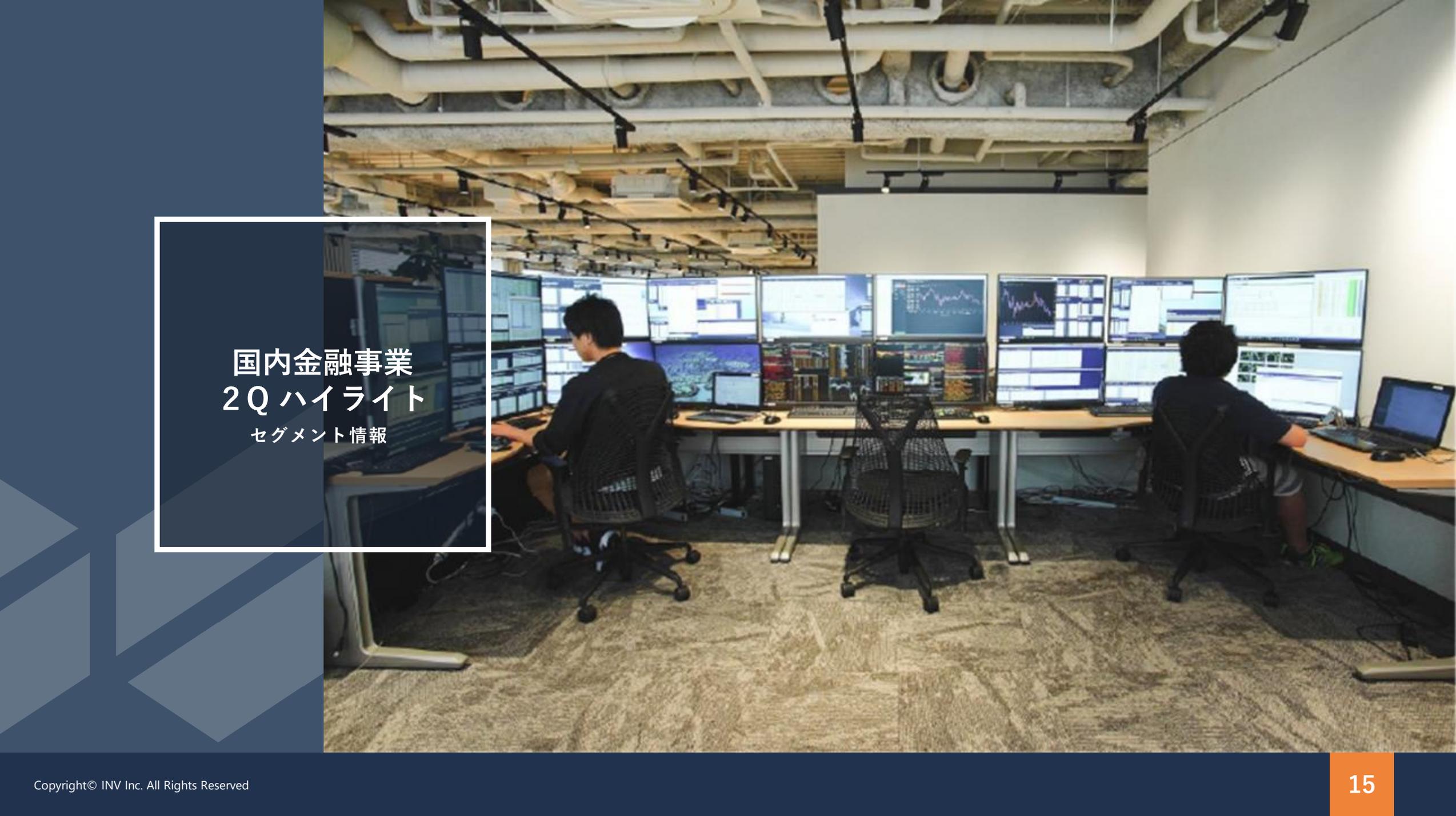


販売費・一般管理費の推移

(百万円)



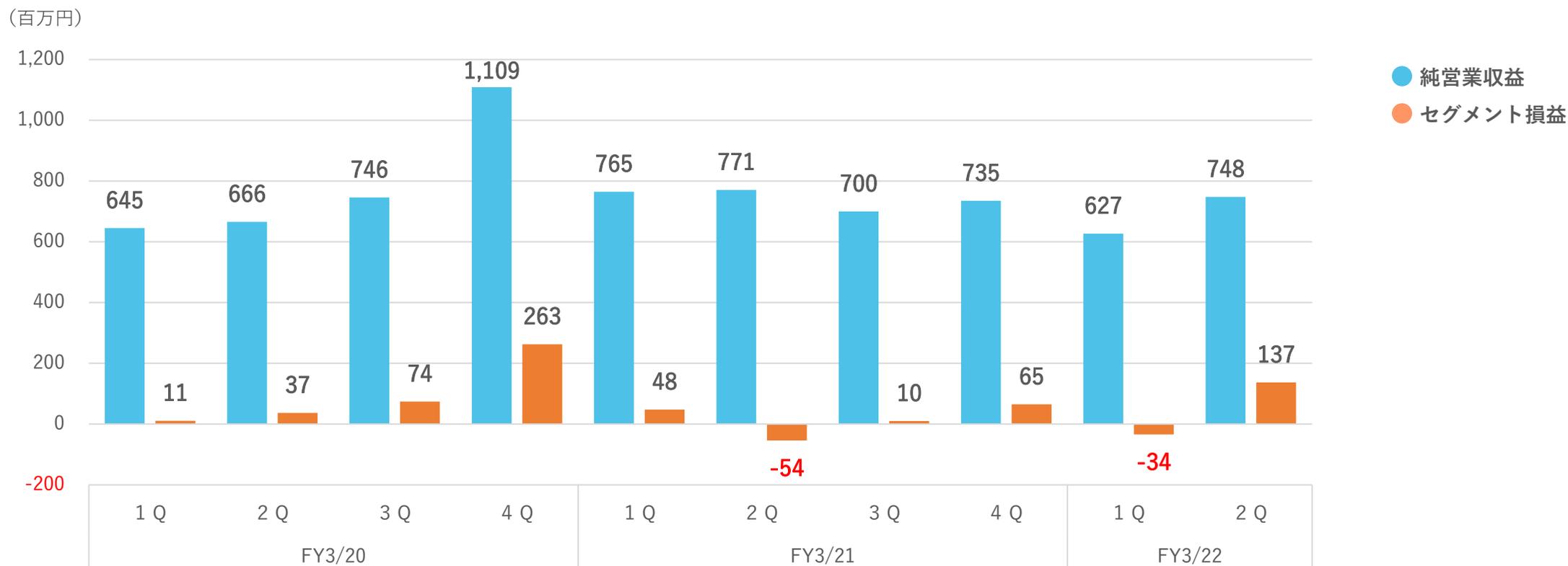
- その他
- 減価償却費
- 器具備品費
- 人件費
- 広告宣伝費
- 取引関係費



国内金融事業
2Q ハイライト
セグメント情報

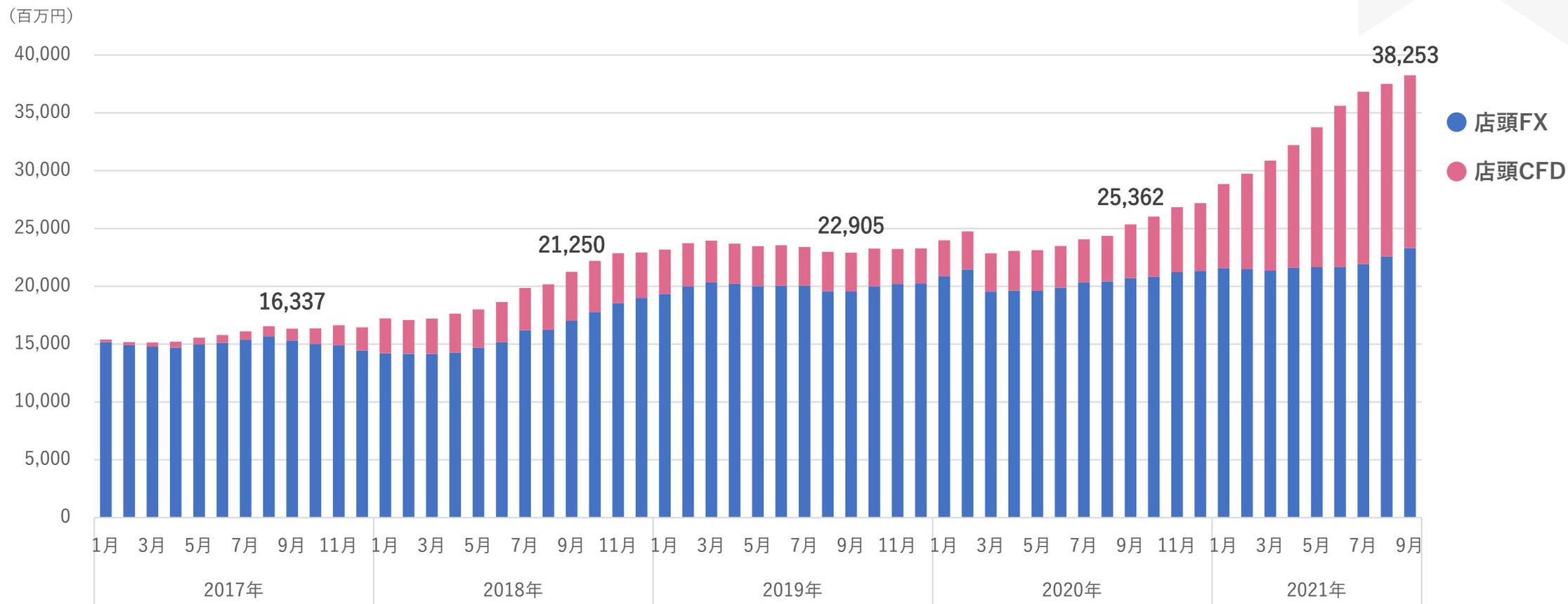
国内金融事業

単位：百万円	2021年3月期 2Q(7-9)	2022年3月期 2Q(7-9)	前年同期比
純営業収益	771	748	△3.0%
セグメント損益	-54	137	-



預かり証拠金残高（店頭FX・店頭CFD）

主力事業の店頭FX・CFDの預かり証拠金残高は **380億円** を突破
前年同月比 **128億円増** となり、FX・CFD(ETF)ともに収益基盤は成長



APPENDIX – トライオートのリリース情報

主力サービス「トライオート」は顧客基盤拡大のためサービスを強化しています。

- ・「トライオート・コンシェルジュ」サービス開始
- ・有名ストラテジスト監修による新しい自動売買プログラム「プロテクター」をリリース
- ・一般投資家から優秀なプログラムを募集する「ラボ」を開始

トライオート・コンシェルジュについて

トライオートはお客様の投資レベルやニーズに合わせてFX・CFD(ETF)の自動売買取引を始めることができるサービスです。

「自動売買は難しい」、「どのように設定したら良いかわからない」といった悩みを解消し、トライオートの機能を十分に活用いただくため、専任スタッフが対応するコンシェルジュサービスを開始しました。

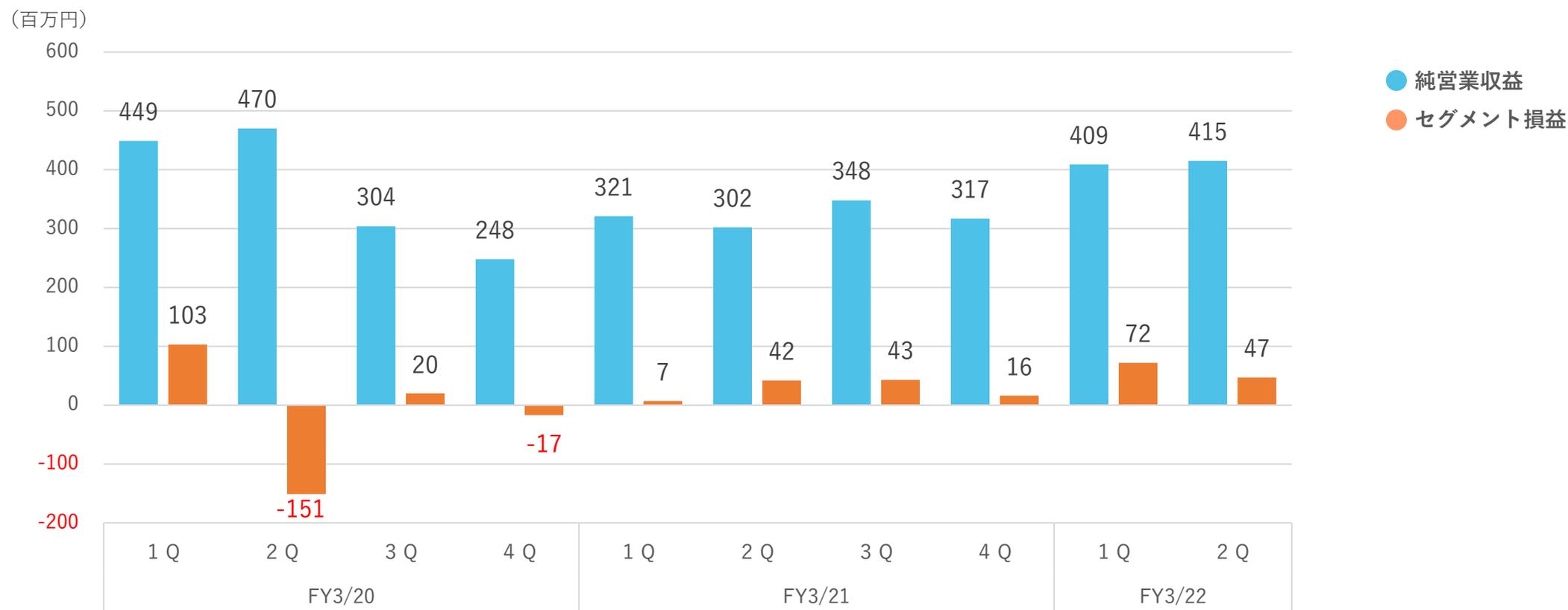
トライオートは今後も自動売買の分野において差別化を図り、サービス向上に取り組んでまいります。

海外金融事業
2Qハイライト
セグメント情報



海外金融事業

単位：百万円	2021年3月期 2Q(7-9)	2022年3月期 2Q(7-9)	前年同期比
純営業収益	302	415	+37.3%
セグメント損益	42	47	+10.1%

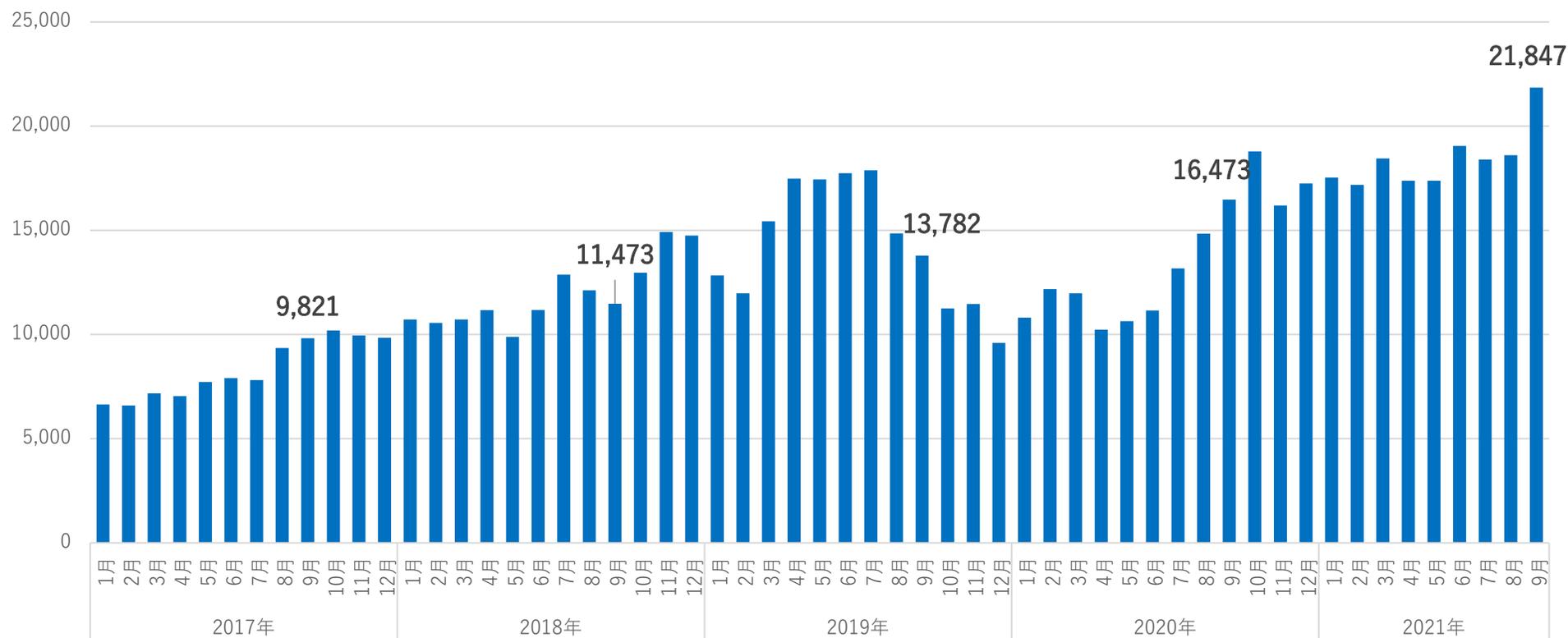


[海外事業] 預かり証拠金残高推移

海外事業の預かり証拠金残高は前年同月比 +32.6% の 2億1,847万豪ドル

個人向けDMACFDサービスが伸び、2億豪ドルを突破し過去最高を更新

(万豪ドル)



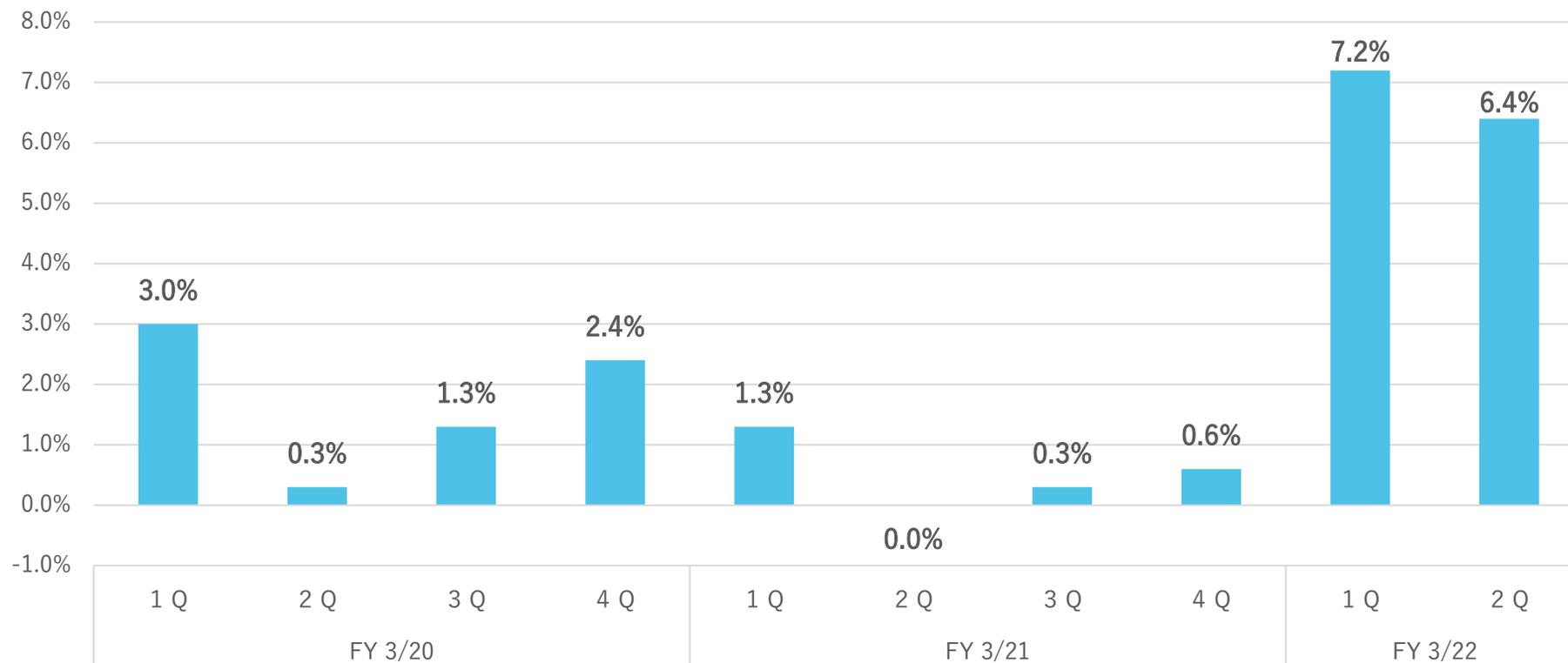
ROE
株主還元



株主資本利益率（ROE）

2022年3月期 第2四半期の株主資本利益率（ROE）は **6.4%**

増収増益になったことから、四半期ROEは前年同期と比較すると **大きく改善**



※四半期ROEは四半期純利益の平均値を年換算して算出しております。例) 第3四半期は(第3四半期純利益/3)×4

株主還元

配当方針

連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%(年率)のいずれか高い方を目安とし、中間・期末の年2回の配当を実施

2022年3月期 配当予定

中間・期末配当 **37円** (予定)

配当利回り※ **4.7%**

※配当利回りは2021年9月30日の終値782円で算出

配当の実績と予定

決算期		19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	18.0	18.0	18.0	18.0
	期末	19.0	19.0	19.0	19.0 (予定)
	合計	37.0	37.0	37.0	37.0 (予定)
当期純利益(百万円)		486	257	60	
配当総額(百万円)		217	217	217	
配当性向(%)		44.7	84.4	359.6	
ROE(%)		4.6	2.4	0.6	
DOE(%)		2.0	2.0	2.0	
配当利回り(%) ※		4.2	6.8	5.2	

※ 配当利回りは各年度末の終値で算出

※ 2022年3月期の配当は予定であり、配当を保証するものではありません。

※ 19/3月期～21/3月期中間は、インバースト証券での配当実績となります。



Mission/Vision
経営戦略

Mission

存在する目的

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに想い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。

金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

Vision

目指す姿

2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ 金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。

私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たしビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

ビジョン達成に向けた経営戦略



経営戦略 (STAGE2 : 2020>>>2022年)

1 事業の継続的成長

- ・国内金融事業:重点事業(トライオート、マイメイト)への経営資源集中
- ▶ 海外金融事業:プライムブローカレッジ市場におけるトップクラスのグローバルマーケットプレイヤーを目指す
- ・R&D、テクノロジー活用を軸とした商品・サービスの高度化

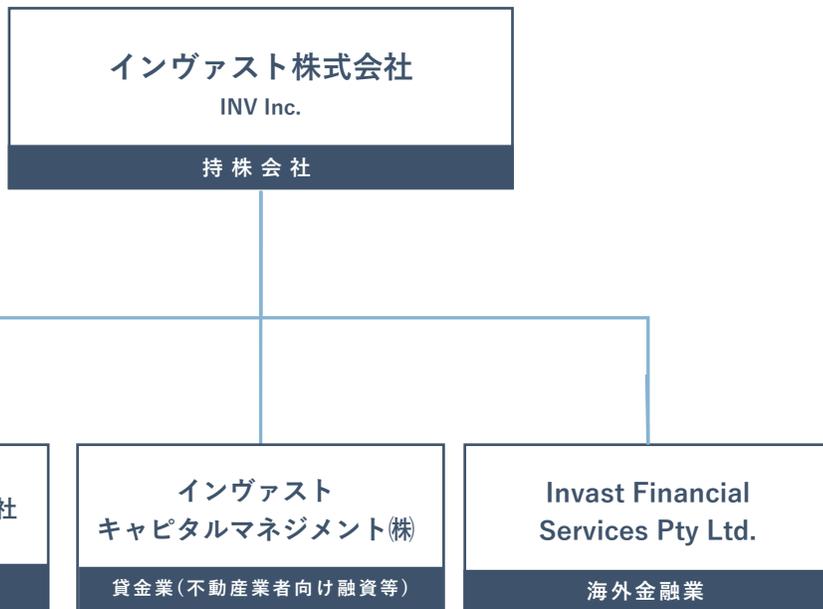
2 グループシナジーの追求

- ・2020年10月、持株会社体制へ移行(株式移転完全親会社:インヴァスト株式会社の設立)
- ・新規事業開始等の戦略実行にあたり、柔軟かつスピード感のある機動的な体制の構築
- ▶ 事業ポートフォリオの分散(投資助言、不動産ファイナンス事業等の比率アップ)
- ・グローバルベースでのシナジーの発揮(グループITマネジメント、共通業務の集約化による業務プロセス効率化等)
- ・各子会社成長に加えてM&Aも活用

3 その他

- ▶ 企業ブランド価値向上(IR・PR)
- ・グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化

持株会社化について



(注) 2021年4月1日付でインヴァスト証券(株)の当社への現物配当により、Invest Financial Services Pty Ltd. およびインヴァストキャピタルマネジメント(株)が当社の完全子会社となりました。

2020年10月1日

株式移転により持株会社を設立

持株会社化の目的

- ・ 新規事業の創出や事業の多角化を進めるうえで、業務提携、M&A等の手段を活用しやすくする
- ・ 意思決定の迅速化、リスク管理の最適化

※本株式移転に伴い、インヴァスト証券株式会社は上場廃止となりましたが、持株会社の株式が、いわゆるテクニカル上場により、2020年10月1日より東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場に上場いたしました。

インヴァスト株式会社 会社概要



会社名	インヴァスト株式会社 (英語名 INV Inc.)
住所	〒103-0004 東京都中央区東日本橋一丁目5番6号
代表者名	代表取締役社長 川路 猛
設立日	2020年10月1日
資本金	500,000,000円
事業内容	グループ会社の経営管理および新規事業開発
上場市場名	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)
証券コード	7338

免責事項

本資料に掲載されている情報は、当社グループの事業の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。

本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。

掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。
